

[053] 文獻探究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1518332>

出版情報：文獻探究. 53, 2015-03-31. 文獻探究の会
バージョン：
権利関係：

『文献探究』五十三号をお届けいたします。今号は、第五十号から続いた梁丹さんによる細川文庫旧蔵の『おちくほ』の翻刻が完結しました。また、天野氏、辛島先生をはじめとする読書会でなされた『たまも』と、川平先生、村上君による『従好談』の翻刻も、完結いたしました。その他、上代から中古の音節構造から、終止形の基底形とその変化を論じた笠間稿、日本語内部での語源研究について短信で論じた張稿などがあります。計七本の論考が揃いました。

*

今号の口絵は、今年度から九州大学附属図書館蔵になりました『金光明最勝王経』を紹介いたします。春日政治、和男両先生が所蔵されていた多くの蔵書を、ご遺族からご寄贈いただきました。その中でも、本資料は国語学的価値の高いものと思われまます。口絵にふさわしい資料がありましたら、解説を添えて是非編集部までお寄せ下さい。

*

前号に引き続き、博士後期課程の門屋飛央が代表を務めております。今号に関する編集・会計事務には、門屋の他、修士課程の藤田優子、吉田宰、脇山真衣、篠田菜央、中山成一、横井佑以が当たりました。次号（五十四号）の投稿締切は来年二月末日、三月刊行の予定です。多数の御寄稿をお待ち申し上げます。

（門屋記）